

Kansai Economic Insight Monthly

2015/5/26

Vol.25 April/May

要旨

- ✓ 3月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりに上昇した。結果、2014年度は前年比+6.2%と2年連続の増産であり、前年(同+1.3%)から加速した。
- ✓ 4月の貿易は、輸出は26カ月連続で前年比増加し、単月過去最高額を更新。輸入は2カ月連続で減少。結果、貿易収支は2カ月連続の黒字。
- ✓ 4月の消費者態度指数は5カ月ぶりに悪化。一方で、景気ウォッチャー現状判断DI、先行き判断ともに改善しており、先行きは不透明。
- ✓ 2月の現金給与総額(関西コア)の伸びは横ばい。プラスの伸びを維持したものの、賃金上昇は一服している。
- ✓ 3月の大型小売店の販売額は9カ月ぶりの前年比マイナス。前年の消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られる。
- ✓ 3月の新設住宅着工戸数は7カ月連続の前年比マイナスも、減少幅は3カ月連続で前月から縮小。貸家はプラスだったが、持家はマイナス、分譲は大幅マイナスとなった。
- ✓ 3月の関西の有効求人倍率は、4カ月連続で前月比横ばい。雇用の回復は一服している。失業率は非労働力人口減少と就業者数増加により改善した。
- ✓ 4月の公共工事請負金額は前年比+40.9%と6カ月ぶりの大幅増。関西の公共工事受注は大幅な伸びを見せている。
- ✓ 3月の建設工事は前年比+1.0%と2カ月ぶりの増加も、建設工場の伸びは停滞している。
- ✓ 関空への訪日外客数の大幅な伸びが続いている。4月の訪日外客数は過去最高となり前年比+52.4%と27カ月連続の増加。一方、出国日本人数は16カ月連続の減少となった。
- ✓ 中国の景気減速は、GDP以外の統計からも明瞭である。4月の工業生産は幾分改善したものの、小幅な伸びにとどまった。一方、同月の固定資産投資及び社会消費品小売総額は減速が続いている。

目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	12
Release Calendar	13

【関西経済のトレンド】

	2014年										2015年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
生産	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↗		
貿易	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	
センチメント	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	↘	
消費	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘		
住宅	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘		
雇用	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↘		
公共工事	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	
中国	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

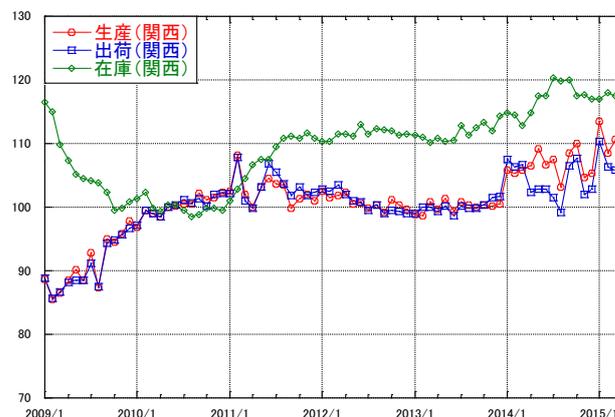
3月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は110.7で前月比+2.0%と2カ月ぶりの上昇、出荷は105.9で同-0.5%と2カ月連続の下落。在庫は117.5で同-0.5%と3カ月ぶりの下落となった。なお実質輸出の伸びは生産動向と同様に足下プラスとなった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同+14.4%)、その他工業(同+6.3%)、情報通信機械(同+3.1%)等が増産となった。一方、電気機械(同-3.6%)、プラスチック製品(同-5.3%)、窯業・土石製品(同-3.4%)等が下落した。

結果、1-3月期は前期比+3.9%と2期連続の増産となった。また、14年度は前年比+6.2%と2年連続の増産であり、

伸びは前年(同+1.3%)から加速した。14年度の生産は堅調な伸びとなった。

鉱工業指数の推移(関西：2015年3月まで、平成22年=100)

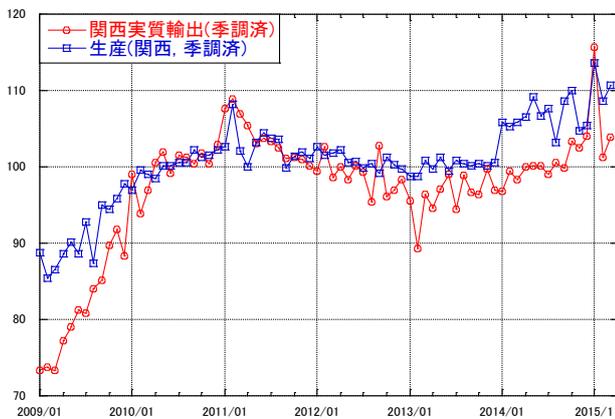


(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の実質輸出と鉱工業生産指数の推移

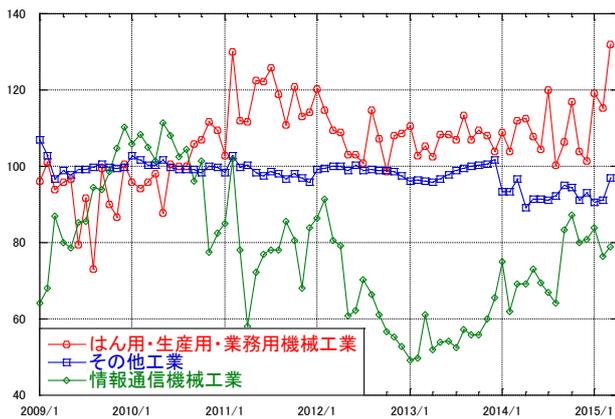
(2015年3月まで、季調済、平成22年=100)



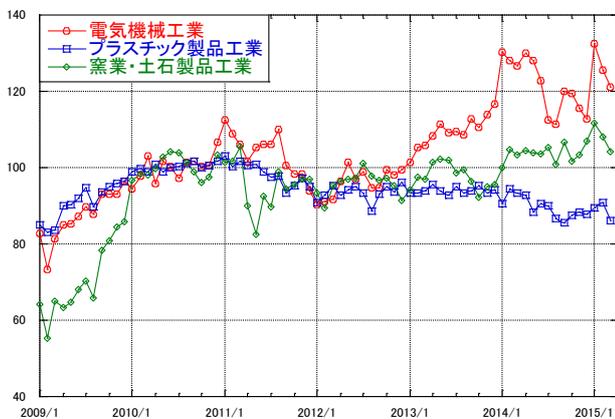
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」、日本銀行大阪支店

業種別生産指数の推移(関西：2015年3月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移 (続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

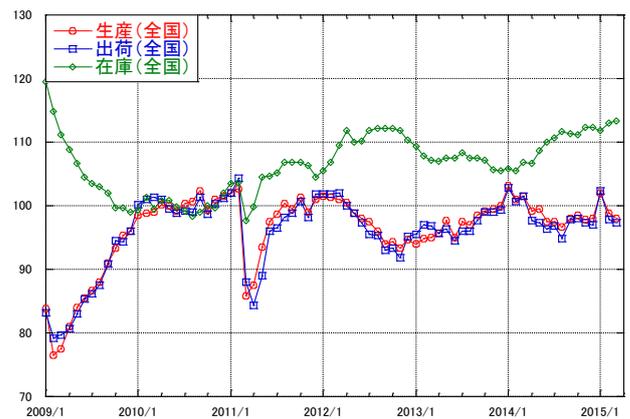
(2) 全国の生産動向

全国における3月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は98.1となり前月比-0.8%、出荷は97.3で同-0.6%といずれも2カ月連続の下落。在庫は113.4で同+0.4%と2カ月連続の上昇となった。

業種別にみると、食料品・たばこ(同-4.1%)、電気機械(同-3.5%)、金属製品(同-4.6%)等を中心に減産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同+1.1%)、情報通信機械(同+3.7%)、電子部品・デバイス(同+1.0%)等は増産となった。

結果、全国の2014年度の生産は前年比-0.4%と2年ぶりのマイナスとなった。なお、製造工業生産予測調査で4月は増産(同+2.1%)、5月は減産(同-0.3%)となっている。

鉱工業指数の推移 (全国：2015年3月まで、平成22年=100)



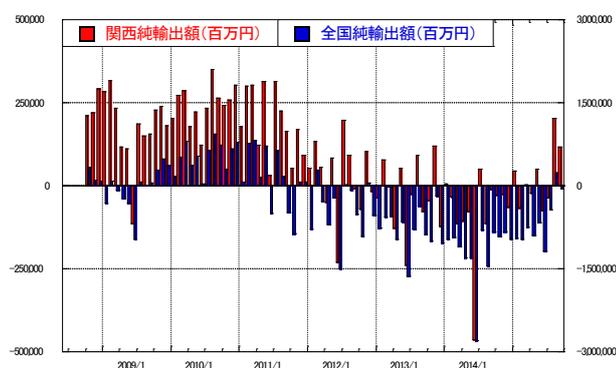
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、4月関西の貿易収支は+1,171億円と2カ月連続の黒字となった。前年同月から1,275億円改善した。全国の貿易収支(速報値)は-534億円と2カ月ぶりの赤字となったものの、赤字幅は前年同月から-93.5%縮小した。

関西純輸出(左軸：100万円)・全国純輸出(右軸：100万円)推移
(2015年4月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

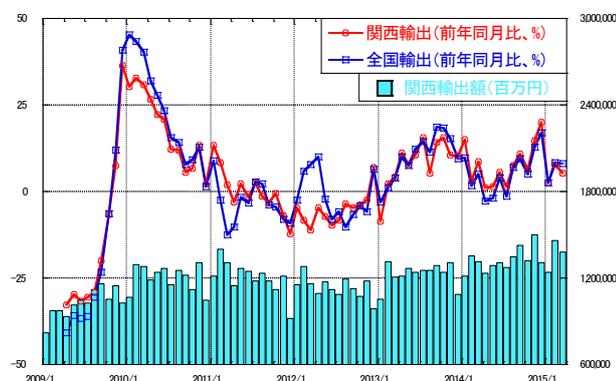
(2) 輸出

関西4月の輸出額(速報値)は1兆3,839億円。前年同月比+5.4%と26カ月連続の増加。4月の輸出額としては過去最高額を更新した。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、通信機であった。一方、鉱物性燃料、有機化合物は減少となった。

全国4月の輸出額(速報値)は6兆5,515億円となり、前年同月比+8.0%と8カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、半導体等電子部品、原動機等の輸出が増加した。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は119.89円と前年同月比-17.0%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年4月まで)



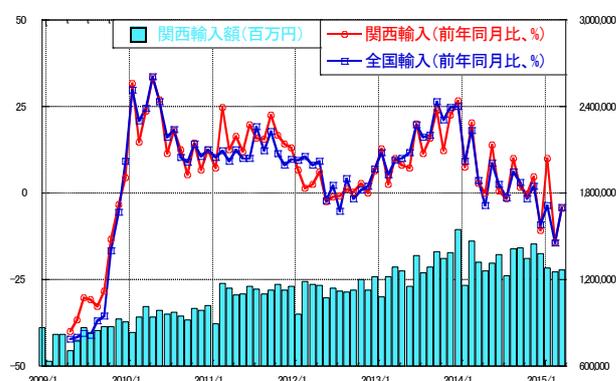
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西4月の輸入額(速報値)は1兆2,667億円、伸びは前年同月比-4.3%と2カ月連続の減少。財別に見れば、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等が減少した。半導体等製造装置(単月過去最高額)、たばこは増加した。

全国4月の輸入額(速報値)は6兆6,049億円、前年同月比-4.2%と4カ月連続の減少。財別に見れば、原油、石油製品、液化天然ガス、鉄鋼石等の輸入が減少した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2015年4月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西4月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,528億円となり、15カ月連続の黒字であった。黒字幅は前年同月比+24.8%拡大した。輸出は8カ月連続で増加(同+4.5%)。財別に見れば、半導体等電子部品、通信機等が増加した。輸入は2カ月ぶりのプラス(同+1.2%)。財別に見ると、半導体等製造装置、通信機等が増加した。

うち、対中貿易収支は-1,033億円と38カ月連続の赤字。赤字幅は2カ月連続で前年同月から縮小した(前年比-16.6%)。輸出は2カ月連続の増加(同+6.5%)。一方、輸入は2カ月連続の減少(同-0.4%)であった。

対米貿易収支は+853億円と黒字基調が続いており、黒字幅は8カ月連続で前年から拡大した(同+12.4%)。うち、輸出は11カ月連続の増加(同+22.2%)。財別に見れば、原動

機、鉄鋼等が増加した。輸入は3カ月連続の増加(同+30.9%)であり、財別に見れば、半導体等製造装置、医薬品等が増加した。

対EU貿易収支は+186億円と6カ月連続の黒字となり、前年同月から+1224.6%改善した。うち、輸出は7カ月連続の増加(同+11.6%)。財別に見れば、医薬品、非鉄金属等が増加した。輸入は2カ月連続の減少(同-1.8%)。財別に見れば、半導体等電子部品、肉類及び同調整品等が減少した。

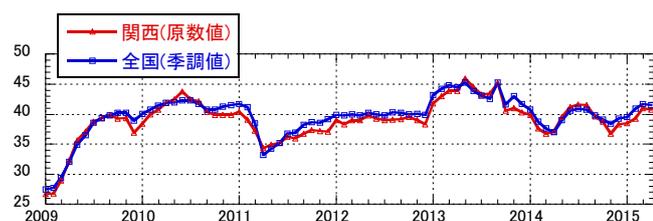
【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の4月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.2ポイントの40.8と、5カ月ぶりに悪化した。全国(季節調整値)でも同-0.2ポイントの41.5と5カ月ぶりに悪化した。低下幅が小さかったことから、内閣府は消費者心理の基調判断を3月と同様「持ち直している」と据え置いた。

関西で同指数の構成項目をみると、4月は「収入の増え方」が同-0.7ポイントで2カ月ぶりに悪化、「暮らし向き」は同-0.3ポイントと3カ月ぶりに悪化した。また、「耐久消費財の買い時判断」は前月比横ばい、「雇用環境」は同+0.4ポイントと3カ月連続の上昇であった。

消費者態度指数(2015年4月まで)



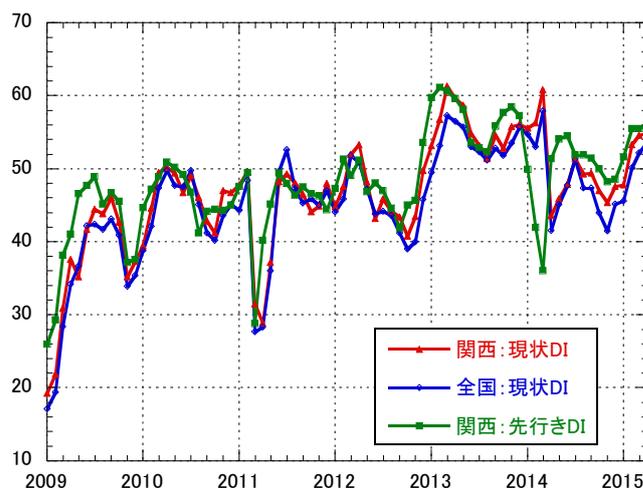
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の4月の現状判断DIは前月比+0.3ポイント上昇し54.9となった。5カ月連続の改善で、横ばいを示す50を3カ月連続で上回ったが、伸びは減速している。インバウンド関連の好調が続いていること、株高による高額消費の好調が主な上昇要因。全国も同+1.4ポイントとこちらも5カ月連続で改善し53.6となった。

先行き判断DIは、関西では56.1と前月比+0.6ポイント上昇。インバウンド関連の好調や賃上げによるプラス効果が期待される一方で、物価上昇を懸念する声も依然として多く、先行きは不透明な状況は変わっていない。全国は同+0.8ポイント上昇して54.2となり、5カ月連続の改善。

景気ウォッチャー調査(2015年4月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

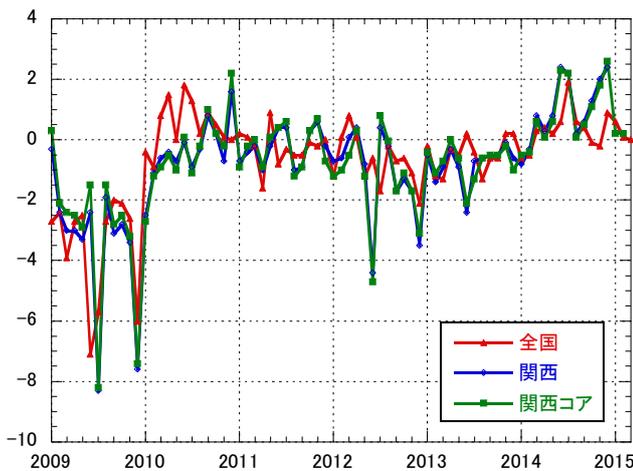
(1) 現金給与総額

2月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は、前年同月比+0.2%と前月比横ばいとなった。産業別では、建設業や生活関連サービス等で上昇した一方、卸売業・小売業では大幅な低下となった。プラスの伸びを維持したものの、賃金上昇は一服している。

全国(確報値)の現金給与総額は、3月は前年同月比で横ばいとなった。内訳をみると、所定内給与は同+0.2%と前月

(同+0.0%)から小幅上昇。所定外給与は同-1.8%と前月(同+0.5%)から大幅に下落。特別給与は同+0.5%と前月(+5.7%)から大幅に下落した。現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同-2.7%と23カ月連続で低下しており、前月からマイナス幅は拡大した。

現金給与総額(前年同月比: %, 2015年3月まで)



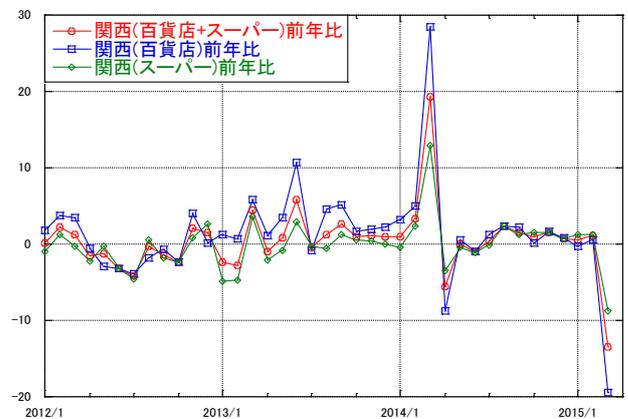
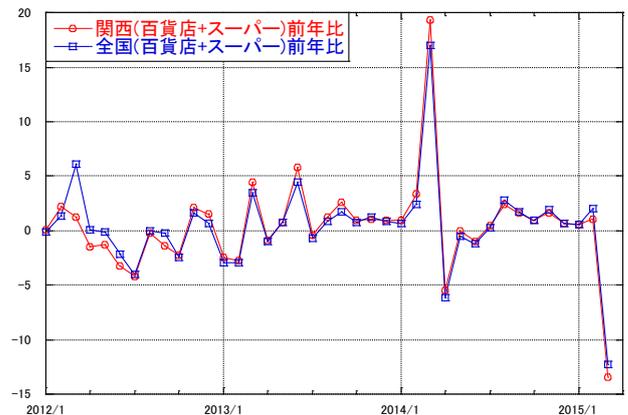
(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(5月19日公表)

(2) 大型小売店販売額

関西の3月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-13.4%と9カ月ぶりのマイナス。百貨店は同-19.4%と2カ月ぶりのマイナス。スーパーは同-8.8%と8カ月ぶりのマイナス。前年の消費増税に伴う駆け込み需要の反動が見られる。

全国でも、3月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-12.3%と9カ月ぶりのマイナスとなっている。こちらも前年の消費増税に伴う駆け込み需要の反動が見られる。

大型小売店販売額(前年同月比: %, 2015年3月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

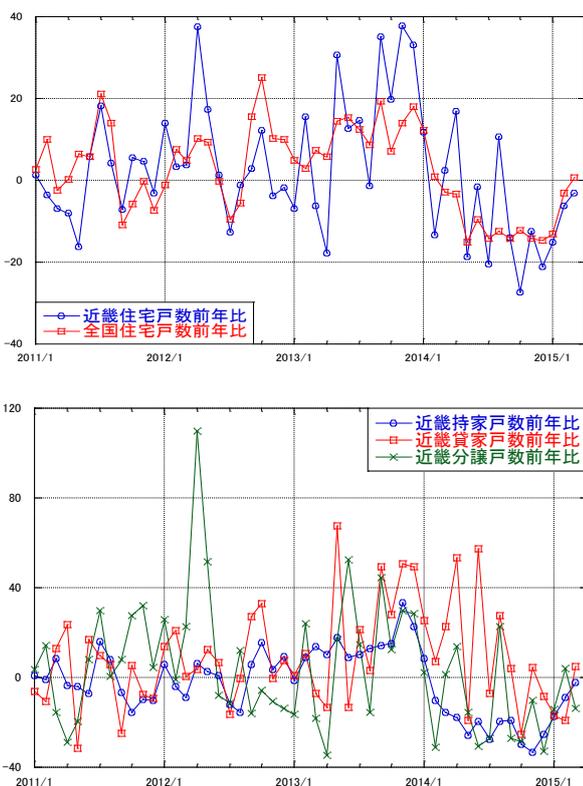
(3) 新設住宅着工の動向

関西3月の新設住宅着工戸数は10,832戸。前年同月比-3.0%と7カ月連続のマイナスも減少幅は3カ月連続で縮小。全国は69,887戸と同+0.7%微増した。13カ月ぶりのプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,593戸、同-2.1%と14カ月連続のマイナス。貸家は4,517戸、同+4.9%と4カ月ぶりの増加。分譲は3,622戸、同-13.7%と2カ月ぶりの大幅マイナスとなった。

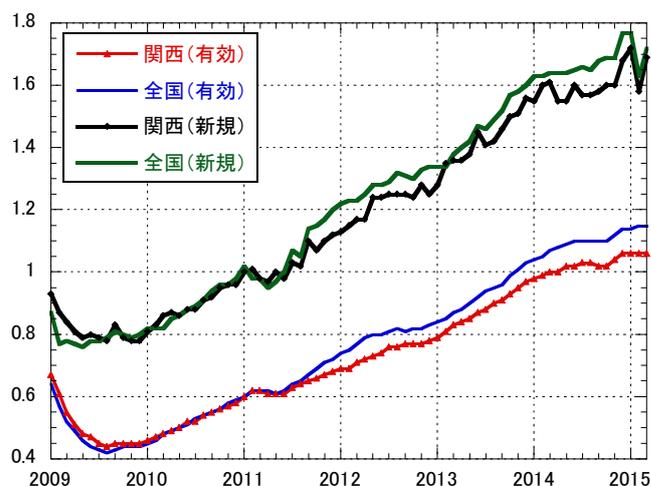
3月の関西マンション契約率は70.4%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を2カ月ぶりに超えている。全国のマンション契約率は75.2%(季節調整値、APIR推計)となった。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2015年3月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2015年3月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成27年5月1日発表)」

関西2府4県有効求人倍率(2015年3月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
3月	1.15	1.06	1.03	1.07	1.14	0.95	0.90	0.99
2月	1.15	1.06	1.00	1.09	1.15	0.94	0.88	0.98

(2) 完全失業率の推移

3月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は3.3%で前月(3.8%)から-0.5%ポイント低下し、2カ月連続の改善となった。非労働力人口の減少と就業者数の増加が失業者数の減少につながっている。

結果、関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は34.6万人で前月(39.3万人)から4.7万人減少した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.4%、前月から-0.1%ポイント低下し2カ月連続の改善。年代別にみると15~24歳の若年層の失業者が大きく減少したことによる。

全国の15~64歳の就業率(原数値ベース)をみると、72.7%となり、前年同月比+0.7%ポイントの上昇にとどまった。性別では、女性の就業率は63.7%と同+1.0%ポイント上昇した。

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

3月の関西の有効求人倍率は、1.06倍と4カ月連続で前月比横ばいとなった。全国も1.15倍と前月比横ばい。雇用情勢の回復に一服感がみられる。

府県別にみると、滋賀県で同+0.03ポイント上昇し1.03倍。一方、京都府では同-0.02ポイント低下し1.07倍となった。

3月の関西の新規求人倍率は、1.69倍と前月比+0.11ポイント上昇し、2015年1月(1.72倍)に並ぶ高さとなった。大阪府では、製造業、卸売・小売業や生活関連サービス業などで求人数が伸びており、雇用情勢は堅調である。全国は1.72倍と前月比+0.09ポイント上昇した。

完全失業率の推移 (季節調整値：％、万人、2015年3月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成27年5月1日発表)

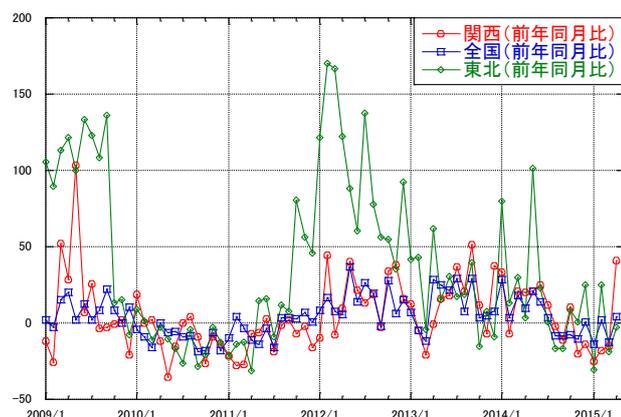
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西4月の公共工事請負金額は2,634億円で前年同月比+40.9%と6カ月ぶりの大幅プラスとなった。全国は1兆8,361億円で同+4.4%と2カ月ぶりのプラス。東北は3,622億円で同-2.7%と2カ月連続の減少となった。関西の公共工事受注は大幅な伸びを見せている。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に4カ月ぶりに前月から大幅増加となった(関西：同+121.4%、全国：同+50.8%)。

公共工事請負金額(前年同月比：％、2015年4月まで)

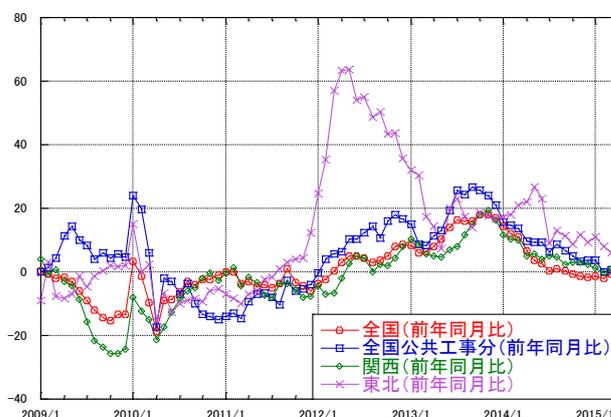


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西3月の建設工事は5,737億円、前年同月比+1.0%と2カ月ぶりの増加となった。東北は6,763億円、同+6.0%と44カ月連続の増加。全国は4兆5,202億円となり、同-0.7%と6カ月連続の減少。うち、全国の公共工事は2兆1,409億円で同+0.8%と38カ月連続の増加も、伸びは12カ月連続で1桁にとどまった。建設工事の伸びは停滞している。

建設工事(前年同月比：％、2015年3月まで)



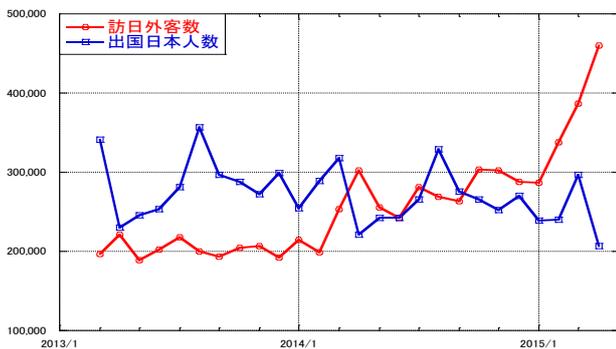
(出所) 国土交通省「建設総統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

関空への訪日外客数の大幅な伸びが続いている。4月の訪日外客数は46万450人、過去最高の数値を記録し前年同月比+52.4%と27カ月連続の増加となった。一方、出国日本人数は20万6,370人(同-6.6%)と16カ月連続の減少となった。

訪日外客数と出国日本人数(2015年4月まで)

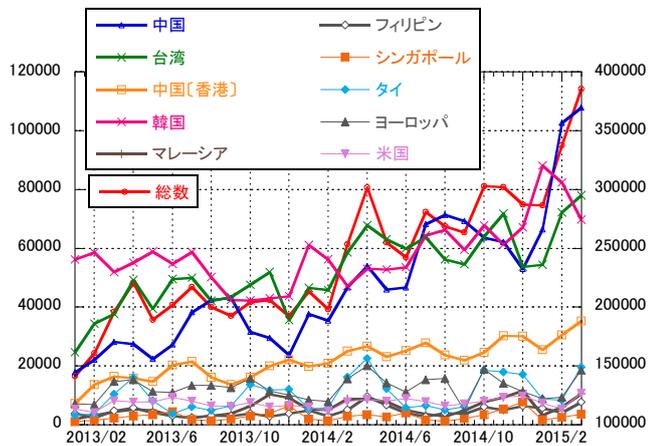


(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、3月は中国(香港を除く)からの入国者数が107,909人(前年同月比+131.1%)と最も多かった。次いで、台湾が78,133人(同+33.3%)、韓国が69,707人(同+47.6%)、中国(香港)が35,244人(同+40.8%)となった。2月3月は春節の影響もあり、中国からの訪日外客数は大幅な伸びが続いている。

地域別訪日外客数(2015年3月まで：人、右軸：総数、左軸：各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

他のアジア各国からの入国者数は、タイから19,502人(同+21.2%)で6カ月連続の大幅プラス。マレーシアからは10,460人(同+16.9%)、フィリピンからは7,664人(同+53.2%)、シンガポールからは3,490人(同+23.0%)とな

り、いずれも伸びは大幅なプラスが続いている。

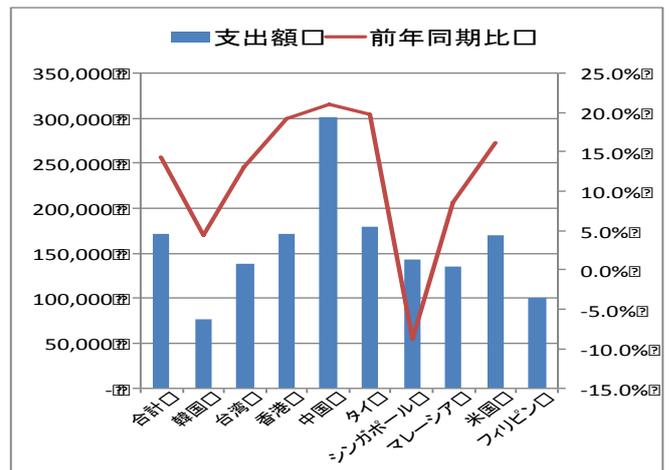
他地域を見ると、ヨーロッパからは18,468人(同+19.1%)と6カ月連続のプラス、米国からは10,671人(同+36.1%)と7カ月連続のプラスであった。

(3) 訪日外客支出

訪日外国人の平均支出額(全国平均)を見れば、2015年1-3月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は17万1,028円となり、前年同期比+14.4%増加した。うち、中国(香港を除く)の平均支出額は30万434円(同+20.9%)で、訪日外客者の中で最大であった。

関空への入国者数が多い他の国々について見ると、支出額が大きいのは、タイで17万9,276円(同+19.8%)であった。その他、香港17万2,137円(同+19.2%)、米国16万9,499円(同+16.2%)、シンガポール14万2,361円(同-8.8%)、台湾13万7,566円(同+13.0%)、マレーシア13万5,146円(同+8.6%)であった。フィリピンは10万1,164円で、韓国は7万6,512円(同+4.5%)であったが、これは訪日滞在が多いためと推測される。

訪日外客支出額：単位円



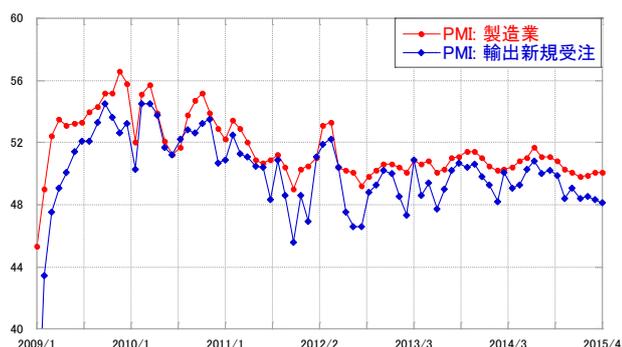
【中国景気モニター】

(1) センチメント

4月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は3カ月連続で改善したが50.1にとどまっている。うち、生産指数は52.6

と前月比+0.5ポイント上昇し、2カ月連続の改善。しかし、新規受注指数は50.2となり、2カ月連続の悪化となった。また、新規輸出受注指数も同-0.2ポイント低下の48.1となり、7カ月連続で50を下回った。雇用指数は48.0となり前月から-0.4ポイント低下し、2カ月ぶりのマイナス。2012年6月以来、35カ月連続で50を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2015年4月まで：%)

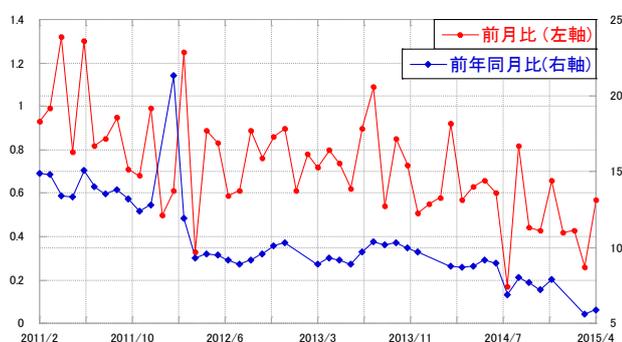


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 工業生産

4月の工業生産は前月比+0.6%と、前月から+0.3%ポイント上昇した。前年同月比+5.9%となり、前月より+0.3%ポイント改善したが、8%超だった昨年同年の水準を大きく下回っている。

工業生産指数(2015年4月まで：%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

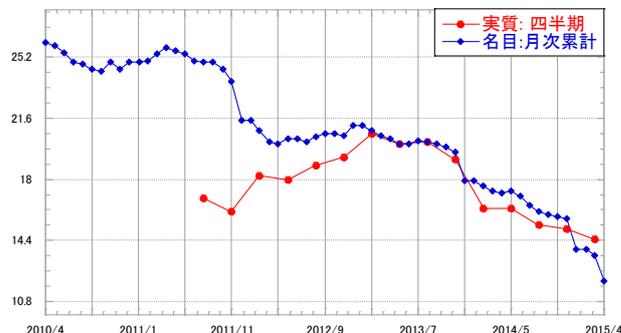
産業別に見ると、医薬製造業(同+11.4%)、化学原料・化学製品製造業(同+10.6%)、パソコン・通信及びその他電子設備製造業(同+10.2%)、鉄道・輸送機器製造業(同+9.2%)等が高い伸びを示す一方で、通用設備製造業(同+2.6%)、専用設備製造業(同+2.4%)、農副食品加工業(同+2.3%)、電力・熱力生産・供給業(同+0.7%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

(3) 固定資産投資

1-4月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+12.0%となったが、10カ月連続で前月から減速している(1-3月期：同+13.5%)。

産業別に見れば、第1次産業は同+26.4%(1-3月期：+32.8%)、第2次産業は同+9.8%(1-3月期：+11.0%)、第3次産業は同+13.2%(1-3月期：+14.7%)となった。

固定資産投資 (2015年4月まで：%) (累積伸び率)

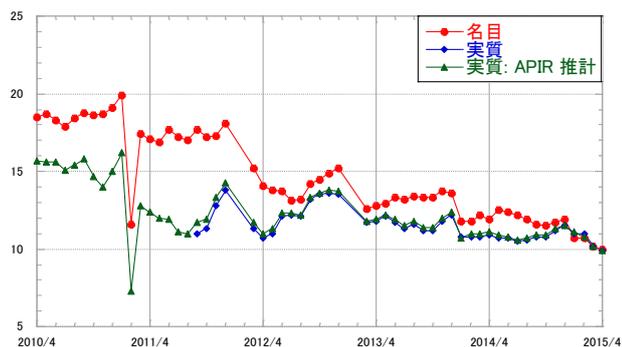


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

4月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.0%と2桁の伸びだが、2カ月連続で小幅減速した。消費は中国经济成長のエンジンと期待されているが、2015年に入り、減速が続いている。

社会消費品小売総額 (2015年4月まで：%)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

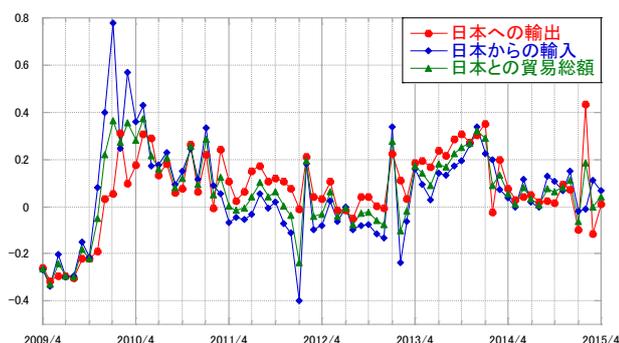
(5) 貿易動向

4月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比-6.5%と2カ月連続のマイナス。輸入額は同-16.4%(速報値)となり、6カ月連続のマイナスとなった。

うち、日本への輸出額は同-13.3%となり、前月(同-24.8%)に引き続きマイナス。日本からの輸入額は同-8.5%となり、6カ月連続のマイナスとなった。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+1.0%となり、前月(同-11.5%)よりプラスに転じた。日本からの輸入額は同+6.7%となり、2カ月連続のプラスとなった。

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2015年4月まで：%)

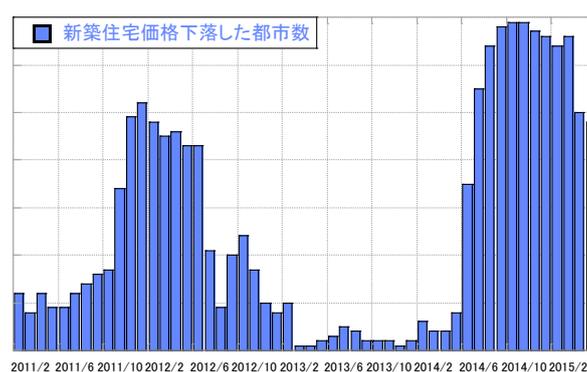


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(6) 不動産市場

不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、4月は48都市で前月に比べ下落した。これに対して18都市では前月に比べ上昇した。4都市では横ばい。下落した都市の数は3月の50都市より減少した。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年4月まで：都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M	14/08M	14/09M	14/10M	14/11M	14/12M	15/01M	15/02M	15/03M	15/04M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	40.4	43.1	46.8	50.3	49.9	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1	55.0
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	37.2	42.1	45.1	49.4	45.8	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9	53.2
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	37.1	39.5	41.2	41.6	41.5	39.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0	40.8
[関西]「暮らし向き」(原数値)	34.2	37.0	38.5	38.8	39.8	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5	38.2
[関西]「収入の増え方」(原数値)	37.1	37.7	37.7	38.7	38.7	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7	38.0
[関西]「雇用環境」(原数値)	44.5	45.7	48.4	48.4	47.7	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1	47.5
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	32.5	37.6	40.1	40.4	39.8	37.9	36.3	34.4	36.4	36.8	37.6	39.6	39.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	37.0	39.0	40.6	40.9	40.7	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7	41.5
[関西]大型小売店販売額(10億円)	281.1	303.7	314.0	335.1	311.0	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	327.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-5.5	0.0	-1.0	0.5	2.4	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	-13.4	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1467.7	1592.4	1631.7	1717.4	1626.3	1531.3	1606.5	1728.6	2155.4	1722.7	1498.6	1714.9	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-6.1	-0.5	-1.2	0.3	2.8	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	-12.3	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12,424	10,095	12,018	10,038	12,764	11,707	10,816	12,192	11,625	9,605	9,002	10,832	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	16.9	-18.6	-1.6	-20.5	10.6	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	-3.0	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	75,286	67,791	75,757	72,880	73,771	75,882	79,171	78,364	76,416	67,713	67,552	69,887	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-3.3	-15.0	-9.5	-14.1	-12.5	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	0.7	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	73.7	80.0	73.4	73.6	71.8	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	70.4	73.6
[関西]マンション契約率(原数値)	74.3	85.3	76.4	77.1	71.7	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	72.7	74.2
[全国]マンション契約率(季節調整値)	74.1	77.5	73.9	83.5	71.9	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	75.2	74.5
[全国]マンション契約率(原数値)	74.7	78.9	76.6	83.7	69.6	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	79.6	75.5
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	187.0	173.7	188.3	164.5	116.7	148.5	150.4	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4	263.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	20.3	21.1	25.0	12.2	-2.0	-11.3	10.8	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9	40.9
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1758.3	1312.6	1585.5	1627.3	1127.6	1398.4	1316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1275.5	1836.1
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	10.0	21.1	14.3	3.5	-8.1	-8.2	-7.4	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4	4.4
[関西]建設工事(総合、10億円)	442.4	450.5	462.1	475.6	506.1	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	573.7	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	4.9	5.7	4.2	4.9	4.8	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	1.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3512.0	3435.2	3634.4	3738.2	4030.9	4333.2	4522.6	4714.6	4834.6	4611.0	4510.3	4520.2	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	6.6	3.7	2.8	0.5	1.2	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	-0.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1378.3	1301.1	1410.8	1485.5	1703.7	1933.3	2098.8	2247.4	2344.3	2188.1	2127.4	2140.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	9.7	9.4	9.4	6.3	8.7	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	0.8	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	106.5	109.2	106.7	107.6	103.2	108.6	110.0	104.7	105.4	113.6	108.6	110.7	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.6	2.5	-2.3	0.8	-4.1	5.2	1.3	-4.8	0.7	7.8	-4.4	1.9	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	3.0	1.5	5.5	1.3	-1.7	7.9	7.2	-1.8	2.1	0.8	0.7	1.7	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	3.7	6.4	6.4	6.7	7.7	6.6	3.7	5.1	1.7	1.1	3.1	4.2	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	102.4	102.8	102.9	101.6	99.2	106.5	107.7	102.1	102.9	110.4	106.4	105.9	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-4.0	0.4	0.1	-1.3	-2.4	7.4	1.1	-5.2	0.8	7.3	-3.6	-0.5	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	114.9	117.5	117.6	120.4	119.8	120.0	117.6	117.7	117.1	117.1	118.1	117.5	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	1.9	2.3	0.1	2.4	-0.5	0.2	-2.0	0.1	-0.5	0.0	0.9	-0.5	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	99.2	99.5	97.6	97.5	96.7	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	98.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.3	0.3	-1.9	-0.1	-0.8	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	-0.8	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	1.9	-1.1	1.9	-0.5	-4.1	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	-2.3	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-3.7	-0.4	-0.9	0.5	-2.1	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	-0.6	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	105.2	108.4	110.6	110.7	111.7	111.3	111.2	112.4	112.3	111.8	113.0	113.4	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-0.1	1.9	1.3	0.5	0.9	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	0.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	0.3	0.8	2.4	2.2	0.2	0.6	1.3	2.0	2.4	UN	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	0.1	0.6	2.3	2.2	0.1	0.5	1.1	1.8	2.6	0.2	0.2	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.4	0.2	0.6	1.9	0.6	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	0.0	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.2	4.1	4.4	4.6	4.0	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.3	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.3	4.0	4.2	4.7	4.0	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	3.6	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.6	3.6	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.55	1.55	1.60	1.57	1.57	1.58	1.60	1.60	1.68	1.72	1.58	1.69	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.64	1.64	1.65	1.66	1.65	1.68	1.69	1.69	1.77	1.77	1.63	1.72	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.00	1.02	1.02	1.03	1.03	1.02	1.02	1.04	1.06	1.06	1.06	1.06	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.08	1.09	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-10.3	-26.2	-23.6	-63.1	44.4	-67.2	2.3	-21.9	50.2	-76.0	-36.4	203.1	117.1
[関西]輸出(10億円)	1312.7	1231.3	1288.8	1310.8	1273.6	1348.5	1425.3	1322.6	1500.7	1304.8	1242.5	1459.2	1383.9
[関西]輸出(前年同月比%)	8.6	1.2	1.5	5.5	1.3	7.5	10.9	6.5	14.7	20.0	2.5	7.9	5.4
[関西]輸入(10億円)	1323.1	1257.4	1312.4	1373.9	1229.1	1415.7	1423.0	1344.8	1450.5	1380.8	1278.8	1256.1	1266.7
[関西]輸入(前年同月比%)	2.8	-0.2	14.0	0.6	-1.7	9.9	1.9	-0.3	4.7	-10.9	10.1	-14.2	-4.3

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
27-Apr	28-Apr	29-Apr	30-Apr	1-May 毎月勤労統計 (3月:速報値) 求人倍率(3月) 完全失業率(3月) 中国製造業 PMI (5月)
4-May	5-May	6-May	7-May	8-May 近畿鉱工業生産指数 (3月速報) 近畿貿易統計 (2月確報) 近畿貿易統計 (3月確速) 中国輸出入 (5月:速報値)
11-May	12-May 毎月勤労統計 (3月:確報値)	13-May 景気ウォッチャー調査 (4月) 中国工業生産(5月) 中国固定資産投資 (5月) 中国消費小売総額 (5月)	14-May マンション契約率 (3月) 商業動態調査 (3月:確報値)	15-May 消費動向調査(4月) 公共工事前払保証額 統計(4月)
18-May 全国鉱工業生産指数 (3月:確報値) 建設総合統計(3月)	19-May	20-May	21-May	22-May
25-May 近畿貿易統計 (4月速報) 全国貿易統計 (4月:速報) 近畿鉱工業生産指数 (3月確報)	26-May	27-May	28-May 商業動態調査 (4月:速報値) 全国貿易統計 (4月:確速)	29-May 求人倍率(4月) 完全失業率(4月) 全国鉱工業生産指数 (4月:速報値) 新設住宅着工(4月)